【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和5年11月27日(2023.11.27)

【公開番号】特開2022-89325(P2022-89325A)
【公開日】令和4年6月16日(2022.6.16)
【年通号数】公開公報(特許)2022-108
【出願番号】特願2020-201649(P2020-201649)
【国際特許分類】
*Ｂ６０Ｗ10/04(2006.01)*
*Ｂ６０Ｗ10/18(2012.01)*
*Ｆ０２Ｄ29/00(2006.01)*
*Ｆ０２Ｄ29/02(2006.01)*
*Ｆ０２Ｄ29/06(2006.01)*
*Ｂ６０Ｔ 7/12(2006.01)*
*Ｂ６０Ｗ10/06(2006.01)*
*Ｂ６０Ｗ10/08(2006.01)*
*Ｂ６０Ｗ20/00(2016.01)*
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｗ10/00 １２０
Ｂ６０Ｗ10/04 ＺＨＶ
Ｂ６０Ｗ10/18
Ｆ０２Ｄ29/00 Ｃ
Ｆ０２Ｄ29/02 ３２１Ｃ
Ｆ０２Ｄ29/06 Ｄ
Ｂ６０Ｔ 7/12 Ａ
Ｂ６０Ｗ10/06 ９００
Ｂ６０Ｗ10/08 ９００
Ｂ６０Ｗ10/18 ９００
Ｂ６０Ｗ20/00 ９００

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月16日(2023.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５６】
図７は、勾配が小さい場合に対応した停止後上昇許容ブレーキ力Ｕｍ１と、勾配が大きい場合に対応した停止後上昇許容ブレーキ力Ｕｍ２とを例示した図である。
図示のように勾配が大きい場合の停止後上昇許容ブレーキ力Ｕｍ２は、勾配が小さい場合の停止後上昇許容ブレーキ力Ｕｍ１よりも大きくする。以下、勾配が小さい場合に対応した停止後上昇許容ブレーキ力Ｕｍ１に基づき算出されるＮＶブレーキ力閾値Ｎｔｈを「Ｎｔｈ１」と表記し、勾配が大きい場合に対応した停止後上昇許容ブレーキ力Ｕｍ２に基づき算出されるＮＶブレーキ力閾値Ｎｔｈを「Ｎｔｈ２」と表記する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７９
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００７９】
ステップＳ１１３において、現在のブレーキ力がＮＶブレーキ力閾値Ｎｔｈ未満であると判定した場合、制御部２３はステップＳ１１４に進み、暫定の要求ブレーキ力として、「現在のブレーキ力＋α」を設定する。
ここで、本例において予増圧処理は、停車直前タイミングからブレーキ力を徐々に上昇させることで行うが、上記の「α」は、この際のブレーキ力の上昇幅（単位時間あたりの上昇幅）を定める値となる。上述のように図１２及び図１３に示す一連の処理は繰り返し実行されるが、その下でステップＳ１１４の処理が逐次実行されることで、ブレーキ力がαずつ上昇していき、ＮＶブレーキ力閾値Ｎｔｈに徐々に近づいていくことになる。
なお、αについては固定値であっても可変値であってもよい。αを固定値とした場合には、予増圧処理におけるブレーキ力の上昇率を何らかの条件に応じて可変とすることができる。